

(表紙)

平成 30 年度

「運営に関する計画」

大阪市立喜連東小学校

平成 30 年 4 月

学校教育目標

感じ、考え、確かで、豊かに表現しようとするを通して、共に分かり合い、高め合う子どもを育てる。

1 学校運営の中期目標

現状と課題

☆現状について

○自己肯定感、自尊感情の低さ

本校	大阪市	大阪府	全国
46.3%	70.3%	72.9%	76.3%

H28 全国学力・学習状況調査の児童質問紙「自分には、よいところがあると思いますか。」

に対して、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合

平成28年度、本校では、全国平均や大阪市平均と比べて、「自分にはよいところがあると思う」児童の割合が大幅に少なかった。これは、子どもたちの中に自己肯定感や自尊感情が醸成されていないことの表れである。また、学年が上がるほど割合が少なくなっている。つまり、学年が上がるほど、自己肯定感を自ら否定していく傾向にあった。これは、学習が難しくなり理解できないままになっていて、そのために自分に自信を持つことができずにいるからではないかと考えられる。

昨年一年間の取組により、同一母集団においては、同じかそれ以上になっている。少しずつではあるが、子どもたちの中に自己肯定感が育ちつつある。しかし、まだ大阪市や全国の平均とは差がある。

	3年	4年	5年	6年	学校全体
H28	71%	51%	58%	44%	58%
H29	63%	88%	58%	58%	66%

小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」という

質問に対する「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合

○規範意識の低さ

本校	大阪市	大阪府	全国
64.8%	86.9%	86.6%	91.5%

H28 全国学力・学習状況調査の児童質問紙「学校のきまりをまもっていますか。」に対して、

「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合

これも、全国平均などと比べて、大幅に下回っていた。また、本校の特徴として「あてはまらない」(本校7.4%、全国1.1%、大阪市2.1%)と答える児童の割合が非常に高かった。

規範意識が低く、そのため、自分勝手な行動から他の子とのトラブルが生じることも少なくない。

昨年度一年間の取組により、どの学年も肯定的に答える子どもの割合が、増加しており、全国平均レベルに近くなってきている。

	3年	4年	5年	6年	学校全体
H28	89%	79%	85%	75%	83%
H29	85%	96%	95%	88%	91%

小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか。」という質問に対する「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合

○ 異学年交流の実施について

従来行事に加えて、給食や清掃時に異学年間（ペア学年）などで、異学年交流を十分に図れた。そのため、上の学年の児童が下の学年の児童を思いやる気持ちが醸成されてきている。

○ 体力向上について

毎学期シャトルランの記録を計測したり、体育科の授業の中でラダーを使った運動を取り入れたりしたことで、児童たちの走ることへの意識が高まってきている。

☆課題について

○ 自己に肯定的なイメージを持つことは、自分を大切にすること、加えて他の人も大切にすることにつながっていく。自己肯定感を醸成していくために大切なことは、親やまわりのおとな（教員を含む）に大切にされているという感情を持つことであり、ちょっとしたことでも何かを成し遂げることにより培われる自信を経験の中で積み重ねていくことが必要である。

○ 集団生活の場では、きまりを守ることが、みんなが安心・安全に生活するための第一歩である。きまりを守らないことがかっこよく、きまりは守らなくてもいいという風潮は、ぬぐいさなければ、学校の安心・安全は守っていけない。

○ 朝、始業時間を過ぎて登校してくる子どもが少なくない。基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭への啓発、家庭との連携が必要である。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○ 平成 32 年度内の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○ 平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか。」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 75%以上にする。（施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を、毎年、前年度より減少させる。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成32年度の小学校学力経年調査における標準化得点を平成28年度より向上させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成32年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より5ポイント減少させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成32年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より5ポイント増加させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成32年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に答える児童の割合を平成28年度より増加させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 特に課題であるシャトルランとソフトボール投げの記録を、平成33年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、平成28年度より3ポイント向上させる。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

【その他】

- 平成32年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成32年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を70%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成32年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成32年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を75%以上にする。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか。」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。
（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

学校園の年度目標

- 平成30年度の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保や事故防止に努めている。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える保護者の割合を、平成29年度と同じかそれ以上にする。
（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）
- 平成30年度の保護者アンケートにおける「学校は、保護者の意見や願いにに応じている。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える保護者の割合を、平成29年度と同じかそれ以上にする。
（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）
- 平成30年度の保護者アンケートにおける「学校は、積極的に保護者や地域に情報発信を行っている。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える保護者の割合を、平成29年度と同じかそれ以上にする。
（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加させる。
（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である（シャトルラン・ソフトボール投げ）のへ平均の記録を、前年度より1ポイント向上させる。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

学校園の年度目標

- 平成30年度の児童アンケートで「学校の授業は、わかりやすい。」に対して「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を平成29年度より増加させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成30年度の保護者アンケートで「学校は、子どもたちのよさを生かす教育活動に取り組んでいる。」に対して「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える保護者の割合を平成29年度より増加させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

【その他】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を70%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪府立喜連東小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) ○ 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか。」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) ○ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) ○ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保や事故防止に努めている。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える保護者の割合を、平成29年度と同じかそれ以上にする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) ○ 平成30年度の保護者アンケートにおける「学校は、保護者の意見や願いに応えている。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える保護者の割合を、平成29年度と同じかそれ以上にする。 (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援) ○ 平成30年度の保護者アンケートにおける「学校は、積極的に保護者や地域に情報発信を行っている。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える保護者の割合を、平成29年度と同じかそれ以上にする。 (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>生活指導連絡会で校内の状況を全教職員で共通理解し、対策を講じる。また毎学期、「いじめに関するアンケート」を実施する。</p> <hr/> <p>指標 いじめについてのアンケートにおける「あなたは今のクラスになって、いじめられたことはありますか。」という項目について、「ある」と答えた児童のうち、「そのいじめは今も続いていますか。」の問いに対して、「続いている」と答える児童の割合を5%以下にする。</p>	

<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 「警備及び防災の計画」「危機管理マニュアル」を元に年間指導計画を作成し、それに沿って防災に関する授業や、災害時に備えた訓練を実施する。</p>	
<p>指標 各学級で年に一度防災に関する授業を実施し、児童アンケートにおける「災害等が起きたとき、自分の身を守るためにどうしたらよいかを知っている。」という項目について「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を年度当初以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 「学校だより」や「ホームページ」を活用して、学校生活の様子を保護者や地域に発信する。</p>	
<p>指標 保護者アンケートにおける「学校は、積極的に保護者や地域に情報発信を行っている」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える保護者の割合を平成29年度以上にする。</p>	
<p>取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 学校生活のきまりを守ることにについて、生活目標を設定する。また、靴の履き替えや、安全な廊下、階段の歩行等について啓発し、意識の向上に努める。</p>	
<p>指標 児童アンケートにおける「あなたは、学校のきまりをまもっていますか」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を年度当初より2%向上させる。</p>	
<p>取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】 学年間での活動の活性化を図り、異学年交流を深める。</p>	
<p>指標 縦割り班活動や異学年交流の活動を実施し、児童アンケートにおける「他の学年のみんなと協力して、活動することができている。」という項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える児童の割合を年度当初以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立喜連東小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における標準化得点を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) ○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) ○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) ○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) ○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である(シャトルラン)の平均の記録を、前年度より1ポイント向上させる。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成) <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度の児童アンケートで「学校の授業は、わかりやすい。」に対して「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を平成29年度より増加させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) ○ 平成30年度の保護者アンケートで「学校は、子どもたちのよさを生かす教育活動に取り組んでいる。」に対して「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える保護者の割合を平成29年度より増加させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 個に応じた指導(T.T指導、習熟度別少人数指導など)や学習形態の工夫を通して、基礎・基本の確実な習得を図る。</p> <hr/> <p>指標 レディネステストなどを元に児童の実態を把握し、指導に取り組み、小学校学力経年調査や診断テストにおいて、算数の正答率50%以下の児童の割合を平成29年度以下にする。</p>	

<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 全教員が対話的な授業をめざして、一回以上の研究授業を行う。</p>	
<p>指標 算数に関するアンケートを実施し、「算数の勉強は好きですか。」という質問に対して、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成29年度以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 算数科を中心に自分の考えを書いたり、話したりする機会を設定するなどして、言語活動の充実に努め、学びを楽しむ子どもの育成を図る。</p>	
<p>指標 算数に関するアンケートを実施し、「算数の学習で、自分の考えを話したり、書いたりして表現することは好きですか」の項目について、「そう思う、どちらかといえばそう思う」と答える児童の割合を平成29年度以上にする。</p>	
<p>取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 教員の指導力向上をめざし、校内研修（メンター研修、教科領域主任研修会等）を企画し、計画的に実施する。</p>	
<p>指標 校内研修計画を作成し、計画的に年8回以上の研修会を実施する。</p>	
<p>取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 なわとび週間やかけあし週間等を活用し、体力向上の意識を高める。</p>	
<p>指標 シャトルランの記録を、平成29年度より1ポイント向上させる。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立喜連東小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【その他】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を70%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。 (施策2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を75%以上にする。 (施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>体験的な活動を通して、相手のことを理解し、好ましい人間関係を確立できるような集団づくりに努める。</p> <p>指標 児童アンケートにおける「係活動や当番の仕事をがんばり、人の役に立つことをしている。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を平成29年度以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>人格形成の基礎を培うため、「自分」で「自分」を見つめる機会を設けたり、さまざまなものに触れ合う機会(音楽鑑賞会や観劇会など)を設けたりして、個性や想像力、自分を表現する力をはぐくむ。</p> <p>指標 児童アンケートにおける「学校のいろいろな行事が好きで、学校へ行くことが楽しい。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える児童の割合を平成29年度以上にする。</p>	
<p>取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館の開館を保証し、館内環境整備を行うことにより、子どもたちが進んで読書活動をする環境を整える。</p> <p>指標 図書館の開館回数を増やし、ひらちゃん読書ノート表彰者数を平成29年度以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点